

衣料品の購入から廃棄まで

購入するとき

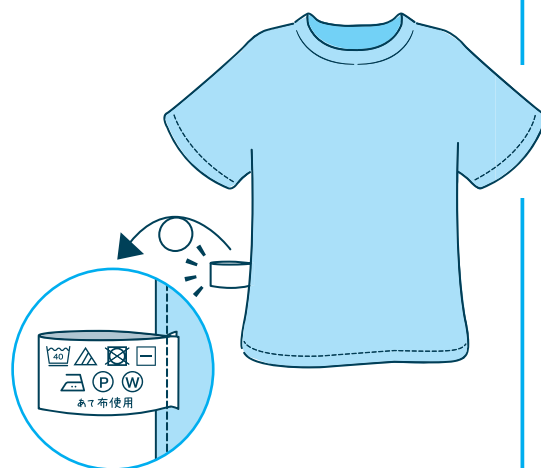
あなたが、今着ている服を購入した理由は何ですか？購入時にはデザインや価格に目が行きがちですが、季節や着用シーンを想定し、自分に合ったサイズかどうかや、動きやすさ、他の衣服とのコーディネートも考えて選ぶことが大切です。また、素材の特徴を考慮するのはもちろんのこと、縫製やボタン付けはしっかりしているかなどの品質の確認も必要です。近年、ネット通販で服を購入することも増えてきました。業者によっては、店舗とネットでの販売を併用しているケースや、ライブコマースといって動画で商品の説明をしているケースもあります。これらの情報を上手く利用しましょう。



表示を見よう

衣服を選ぶときには、タグや左わき、後ろ襟ラベル、ポケットの中などに付けられた品質表示を確認することが大切です。2016年に家庭用品品質表示法(家表法)が改正され、取扱い表示はこれまで「メーカーが推奨する取り扱い方法」から、「取り扱いの上限表示」に変わりました。上限表示とは、表示よりも強い力や高い温度での手入れは、衣類にダメージを与える可能性があるという意味です。消費者は、この意味を理解して責任をもって洗濯方法を選ぶ必要があります。

また2017年の改正では、繊維の種類がより分かりやすくなるように、「指定外繊維」の表示方法は「植物繊維」「再生繊維」などの名称に変更となり、帽子やマフラーにも組成表示と取扱い表示が義務づけられました。その他に、サイズ、原産国、メリット・デメリットなどの表示の確認も必要です。これらの表示を見て判断できる基礎的な知識を持つことが重要です。



手入れをするとき

衣服を清潔で快適に、長く着用するためには、衣服の状態や繊維の種類などに応じた手入れや補修を行うことが不可欠です。皮脂や汗などの汚れ、空気中のほこりや食べこぼしなどの汚れを落として衣類を清潔に保ちましょう。また、汚れを放置するとシミになり外観を損ねるだけでなく、保温性・吸水性・強度の低下や、虫食いなど破損の原因になることもあります。取扱い表示を見て、家庭洗濯か商業クリーニングかの洗濯方法や、漂白・乾燥・アイロンの方法を判断し、衣服の素材や状態に応じた手入れを実践しましょう。



STEP UP!

衣料品と持続可能な社会

繊維産業は、原材料の調達、製造、流通、使用、廃棄、リサイクルに至るまでの環境への負荷が大きい産業とされています。社会や環境に配慮して作られた衣料品を消費者が選択し、適切に手入れをして長く着用することが、持続可能な社会の構築につながります。